

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ひまわりみさき公園		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 25日		~ 2025年 10月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025年 4月 25日		~ 2025年 10月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活スキルを身につけ、社会性を養い、18歳からの就労支援、自立生活に繋げる支援	自分のことは自分でやろうという声掛けや日々のプログラムにクッキングや外出などを取り入れ、基本的な生活スキルの向上、社会のルールなどを学ぶ機会を作っている。	療育内容の充実、自立生活に必要なスキルの向上を行う。成功体験の積み重ねを通して自信に繋げていく。
2	製作活動や音楽活動を通して心の成長(感受性や表現力)や考える力(想像力や集中力、試行錯誤する力)、協調性を育てる	季節に合った製作活動では切る、塗る、描く、折るなど五感を使った活動や説明を聞いて製作活動に取り組めるような支援を行っている。週1回の音楽活動では大きな声を出してストレスの軽減をはかったり、他児と一緒に活動することで協調性を育む支援を行っている。	物を作る喜びや完成したときの感動、歌をうたうことの楽しさや嬉しさなどが増えることでQOLの向上に努めたい。
3	保護者支援	児童の日々の様子をLINEやSNSを使い情報を提供している。保護者が不安に感じていることや子育てに関する悩み事などを念2回の面談時や送迎時に聞く。	定期的に保護者交流会を開催して、職員と保護者の距離を縮め信頼関係を築いていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や保護者との交流	日々の流れ、児童のこと、保護者のこと、地域のこと、事務的なことが見えていなかったと思われる。	
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ひまわりみさき公園

公表日 年月日

利用児童
数 10/20/2025

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3		1		デイサービスの詳細について十分な説明がされていないということと思われるため、保護者会等での説明の機会をつくりたい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15			2		デイサービスの詳細について十分な説明がされていないということと思われるため、保護者会等での説明の機会をつくりたい。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		1		デイサービスの詳細について十分な説明がされていないということと思われるため、保護者会等での説明の機会をつくりたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13		2	2		デイサービスの詳細について十分な説明がされていないということと思われるため、保護者会等での説明の機会をつくりたい。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				日々児童の様子を見ながら、適切な支援が行えるように研修や会議等で職員間で情報の共有をしていきたい。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		2		予定変更があった場合は速やかにお知らせするようにしてく。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1				保護者交流会を開催し、日々の支援内容についてご理解・ご協力いただけるように伝えていく。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	2		4		今後、地域の児童館との交流なども検討していく。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14			3		利用できる福祉サービスの情報などをお伝えできる会を開催したが、周知されていないためお知らせの機会をふやしていく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	16			1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16			1		年2回の面談を行っている。また保護者交流会の開催も予定しているため参加を促していきたい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	2	5		11月に第1回保護者交流会を開催を予定している。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	1	2	保護者からの相談・申し入れ等の対応は休日、夜間を問わず行っているが、言い出せずにいる保護者の方への対応を検討する。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17				日々の連絡はLINEにて行っている。また、SNSの配信やひまわり新聞の発行も行っている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		2	保護者への周知、説明が不十分などところがあると思われるため、保護者会の開催時に改めて説明を行う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2			年2回行っている避難訓練の様子をSNS等で配信する旨、保護者にお伝えしていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	2		事故や怪我の際は電話や送迎時に説明しているが、説明が不十分に感じられているかもしれないので、再度説明の仕方などを確認する。翌日には様子などの聞き取りも行っている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1			通所している児童たちが安心して過ごせるような職員の質、空間、環境を整えていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2		1	今後も児童たちを楽しんでもらえるようなプログラム、イベント等を検討していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				今後も職員一同、満足して通所できるような事業所を目指していきたいと思っています。

公表 所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ひまわりみさき公園		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	定期的に机や棚の配置を移動し、広いスペースが確保できるようにしている。	物が増えないように定期的に整理整頓や掃除の徹底をはかる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		イベントや外出時の人員は増やし対応している。	男性職員がいれば良いと思う場面もあるため、男性職員の募集も引き続き行う
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		トイレ、靴箱等に写真を貼り視覚化しの対応をしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		就業前後にトイレ、フロア、玄関前の掃除を行っている。季節に合わせた掲示物や児童の作品を飾っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		児童の様子をみて個別対応する際は事務室の使用を認めている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		月2回の会議を設けている。色々な議題について話し合いをしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からの意見や相談があれば適時対応し、職員間で共有している。	
	職員の見聞等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月2回の会議を設けている。色々な議題について話し合いをしている。	
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		1年目の実施指導を受け、業務改善に努めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修を受けた後、社内にて報告及び勉強会を行っている。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページにて公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		年2回の保護者との面談や日々の児童の様子などを考慮し支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎月ケース会議を行い、職員間で情報の共有をしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		毎月ケース会議を行い、職員間で情報の共有をしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		随時、職員間で活動内容を話し合い児童が楽しめるように工夫している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		随時、職員間で活動内容を話し合い児童が楽しめるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、ミーティングを行い職員間で確認している。	その日の新たな情報は申し送り用ノートを作成して必ず確認するようにしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	翌日に前日の振り返りを行っている。	新しい職員の認識不足と思われるため、再確認を行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用した児童の様子はケース記録として作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		毎月のケース会議、年2回の保護者との面談等で適時見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6		今年度は4つの基本活動の中でも特に創作活動に特に力を入れており、その活動を通し自立支援、日常生活の充実を図っている。	地域交流の場をもっと増やしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		療育内容やイベントについて、児童の意見も取り入れながら行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		お迎え時に適時確認している。また、保護者から学校の予定表なども頂いている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		今後、検討し情報共有できるようにしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			該当児童なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			今後、検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		児童館との交流はないため、今後検討し交流できる機会を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		今後、参加できるように検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		利用日には保護者にLINEにて写真を送って様子をお伝えしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		利用できる福祉サービスの情報などをお伝えできる会（研修）を開催した。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		年2保護者との面談を行う際に話している。利用料については毎月利用明細書をお渡ししている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		年2回保護者との面談にて話をしている。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		年2回保護者との面談にて説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		年2回保護者との面談で困りごと等の話をしたり、送迎の際に話をするときもある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	イベントの際には保護者参加、きょうだい児の参加も歓迎している。8月の流しそうめん会や10月のミニ運動会へきょうだい児の参加もあった。	11月に第1回保護者交流会を行う予定
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情等があった場合は即時対応し、職員間で情報の共有は行う。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月の予定表、適時発行する「ひまわり新聞」を発行している。SNSにて毎日児童の様子を配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報についての研修を適時行う。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		各児童に寄り添った対応を行っている。	発語のない児童に対し写真や絵を用いて視覚支援の対応や、次のことが気になる児童に対して日々の予定表を作成し時間を記入するなどの対応を行う。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	近隣の商店にイベントのお知らせを行った。	今後、広い範囲でのお知らせも行うようにしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		保護者に対して、安全対策のお知らせ配布済み。避難訓練を年2回行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		安全対策研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		服薬のある児童に関しては保護者から事前に伝えて頂いており、職員間で情報の共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当児童なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		職員研修を行い、情報共有をしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画のお知らせ配布済み	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット報告書の記入を義務づけ。	ヒヤリハットの経験があれば会議で自ら報告し、再発防止を努めるようにする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止の研修を行っている。	虐待防止委員会の責任者、メンバーを明確にし、年4回の委員会を開催する。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在までに拘束するような事例はなし。		